

2020年度
九州ルーテル学院大学附属黒髪乳児保育園
保育士自己評価結果

1. 評価対象者

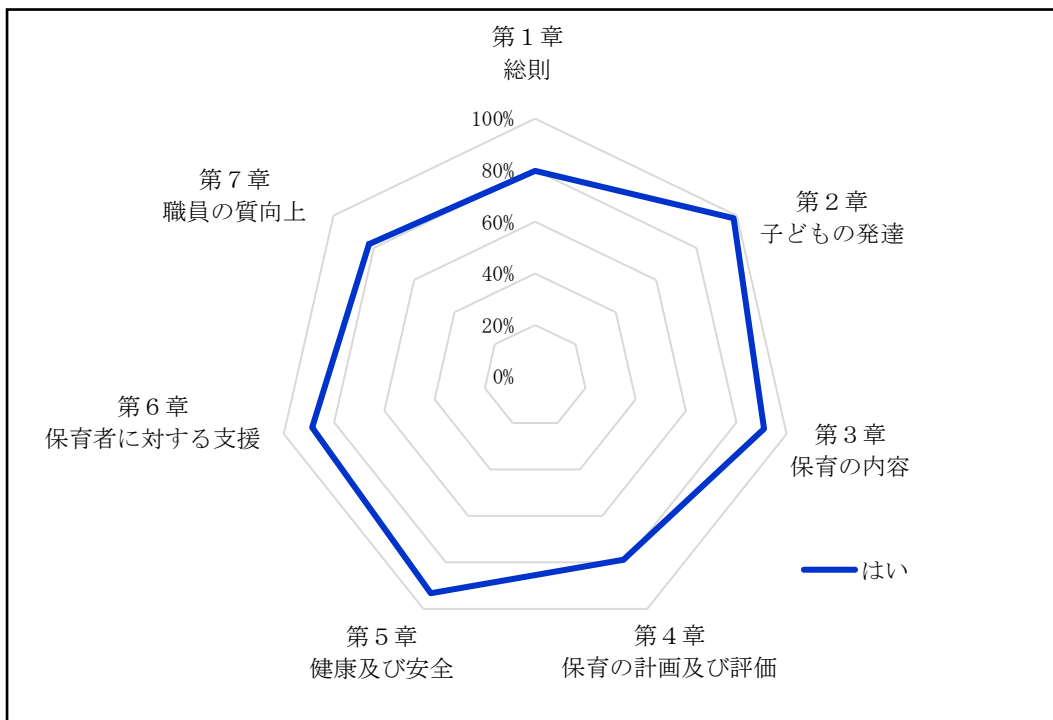
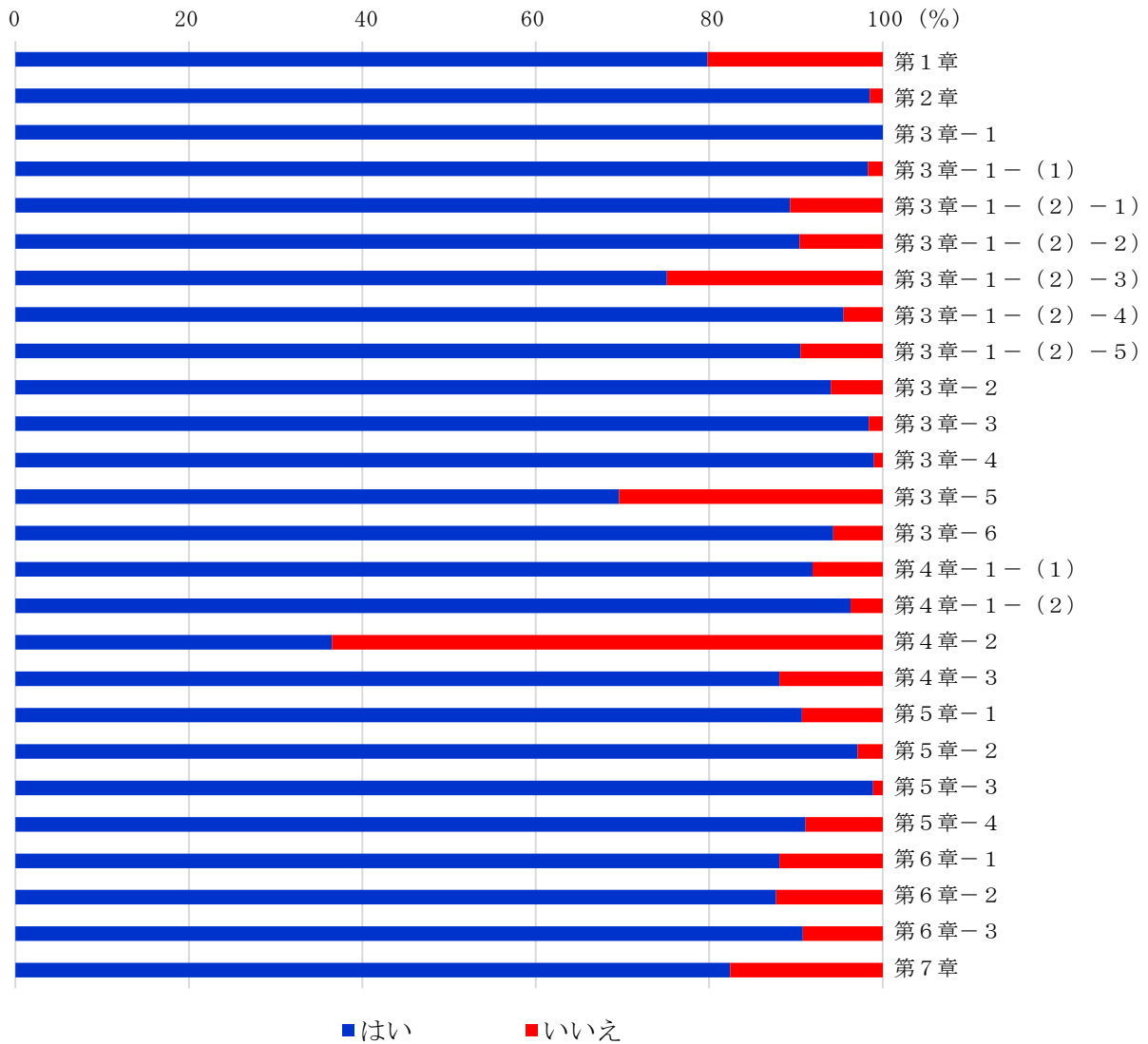
主任保育士、保育士 計14名

2. 評価内容及び結果

	チェック項目 ※すべてのチェック項目は、最後に掲載しています。	はい	いいえ
第1章 総則	1.改訂された保育所保育指針は告示となりましたが、どのような法的拘束あるか説明できますか 2.児童福祉法第18条の4において示された保育士の業務について説明できますか 3.「保育の目標」(保育指針第1章3・(1))に基づいて、保育を行っていますか (他9項目)	79.8%	20.2%
第2章 子どもの発達	1.乳幼児期は、生涯にわたる「生きる力」の基礎が培われる時期であることを理解して、保育を実践していますか 2.子どもの発達は、豊かな心情、意欲、態度を身につけ新たな能力を獲得していく過程であることを理解していますか 3.子どもの発達の特性や発達過程を理解し、「発達の連続性」に配慮して保育をしていますか (他12項目)	98.5%	1.5%
第3章 保育の内容 1.ねらい・内容	1.保育の内容は、目標を具体化した「ねらい」とさらに具体化した「内容」とから構成されることを理解していますか 2.保育所保育は、「養護と教育」が一体となって展開されることに留意していますか 3.「養護」とは、子どもの生命の保持と情緒の安定を図るための援助であることを理解していますか (他3項目)	100.0%	0.0%
(1) 養護	1.指導計画や記録には、いつも養護面の配慮が記載されていますか 2.一人一人の子どもの生理的欲求が十分に満たされるよう配慮していますか 3.登園時の子どもの健康観察を行っていますか (他14項目)	98.3%	1.7%
(2) 教育 1) 健康	1.十分に身体を動かせるよう、時間と場所を確保するなどの配慮をしていますか 2.戸外で遊ぶ機会を多く取り入れていますか 3.友だちと一緒に身体を動かすことを楽しめるように働きかけていますか (他8項目)	89.3%	10.7%
2) 人間関係	1.子どもが、保育士や友だちと共に過ごすことの喜びを感じることができるような配慮をしていますか 2.園生活の中で、自分でできたという充実感を味わえるような体験を取り入れていますか 3.友だちと一緒に喜んだり悲しんだりすることができる機会をつくっていますか (他14項目)	90.4%	9.6%
3) 環境	1.身近な自然を通して、その美しさ、不思議さなどに気づくことができるようにしていますか 2.地域の公共機関を利用するなど、近隣の生活に興味を持てるように配慮していますか 3.園外保育などで地域で働いている人たちに会う機会をつくっていますか (他13項目)	75.1%	24.9%
4) 言葉	1.子どもの言葉の発達の過程について、保育士としての専門的な目で詳細に観察していますか 2.あなたは、子どもの発達や理解力や生活経験に合わせた言葉を使って保育	95.5%	4.5%

	<p>していますか</p> <p>3. あなたは、日々心のこもったあいさつを子どもと交わしていますか (他16項目)</p>		
5) 表現	<p>1. 歌ったり、踊ったりして、音や動きの楽しさに気づき、楽しめるよう援助していますか</p> <p>2. 様々な音、色、形、手触り、動き、味、香りに気づき、心地よさを感じる機会をつくっていますか</p> <p>3. 美しいものや心を動かす出来事に触れ、イメージを豊かにできるような機会をつくっていますか (他10項目)</p>	90.5%	9.5%
2. 保育の環境	<p>1. 季節に合わせて、保育室のインテリアなど環境に工夫をしていますか</p> <p>2. 保育中に音楽を流すときには、選曲や音の大きさに配慮していますか</p> <p>3. 保育中のあなた自身の声の大きさは、子どもにとっていつも適切な大きさですか (他6項目)</p>	94.0%	6.0%
3. 乳児保育	<p>1. 室内の温度や湿度、換気をチェックしていますか</p> <p>2. 授乳は、子どものほしがるときを尊重して行っていますか</p> <p>3. 抱いて目を合わせたり、微笑みかけたりしながら、ゆったりと授乳していますか (他19項目)</p>	98.4%	1.6%
4. 長時間保育	<p>1. 時間保育のために、家庭的な雰囲気をつくることに配慮していますか</p> <p>2. 長時間保育のために、好きなことをしてつろげる空間や玩具などを整備していますか</p> <p>3. 長時間保育では、一人一人の子どもの要求に応じて、ゆったりと接していますか (他4項目)</p>	99.0%	1.0%
5. 障害のある子どもの保育	<p>1. 園での生活の仕方について、障害のある子どもの特性に合わせた個別支援計画を立てて保育を行っていますか</p> <p>2. 障害のない子どもの、障害のある子どもへの関わりに対して、あなたは配慮していますか</p> <p>3. 障害のない子どもも障害のある子どもも、互いの良さを感じ取るように配慮していますか (他8項目)</p>	69.6%	30.4%
6. 子どもの人権	<p>1. 「男(女)の子だから〇〇しない」などと、行動(態度)について、性差への先入観による固定的な対応をしないよう配慮していますか</p> <p>2. 「それは女(男)の子の色」などと、服装や持ち物について、性差への先入観による固定的な対応をしないように配慮していますか</p> <p>3. 「それは男(女)の子の遊び」などと、遊び方について、性差への先入観による固定的な対応をしないように配慮していますか (他4項目)</p>	94.3%	5.7%
第4章 保育の計画及び評価			
1. 保育の計画			
(1) 保育課程	<p>1. 園の保育理念、基本方針、保育課程などを正しく説明することができますか</p> <p>2. 指導計画のねらいや内容を保護者にわかるように説明できますか</p> <p>3. 保育課程の編成にあたっては、その中にどのような事項を入れなければならないかを知っていますか (他2項目)</p>	91.9%	8.1%
(2) 指導計画の作成	<p>1. 指導計画作成は、必ず保育課程に基づいて作成していますか</p> <p>2. 指導計画を養護的側面(基礎的事項)と教育的側面(5領域)の両面を考慮して作成していますか</p> <p>3. 年・月案などの長期的な指導計画と関連させ、子どもの生活に即した週・日案などの指導計画を作成していますか (他15項目)</p>	96.3%	3.7%
2. 小学校との連携	<p>1. 保育所保育が小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることを理解していますか</p> <p>2. 日頃から、小学校の先生と、子どもの発達について話し合う機会を持っていますか</p> <p>3. あなたは、小学校の授業を見学し、小学校の教師と教育のあり方について意見交換していますか (他8項目)</p>	36.5%	63.5%

3. 保育の内容の自己評価	<ul style="list-style-type: none"> 1. 保育所保育指針に、あなたの園の保育を自己評価することが努力義務として位置づけられているのを知っていますか 2. あなたは園の保育理念や基本方針を正しく述べることができますか 3. 自己評価など、自分の保育を振り返る機会を定期的に持っていますか (他6項目) 	88.1%	11.9%
第5章 健康及び安全 1. 子どもの健康支援	<ul style="list-style-type: none"> 1. 子どもの日々の健康状態を把握し、それを一人一人の保育に生かしていますか 2. 身長・体重などの定期的な計測から子どもの発育状況を把握して、日常の保育に生かしていますか 3. 身長・体重などの定期的な計測の結果を、保護者に文書で伝えて日常の保育に生かしていますか (他9項目) 	90.7%	9.3%
2. 環境及び衛生管理	<ul style="list-style-type: none"> 1. 子どもが活動しやすいように、その都度、保育室の換気や温度・湿度に配慮していますか 2. その日の温度・湿度を点検し、記録にとっていますか 3. 適宜、手洗い場やトイレを清掃し、清潔を保つようにしていますか (他2項目) 	97.1%	2.9%
3. 安全管理	<ul style="list-style-type: none"> 1. 子どもが危険な場所、危険な遊びがわかり、安全に気をつけて行動するよう指導していますか 2. 手洗い場の滑り止めをはじめ、必要な箇所の転倒防止の対策をしていますか 3. 施設・設備の安全に関する点検をマニュアルに沿って確実にを行っていますか (他4項目) 	98.9%	1.1%
4. 食育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 1. 子どもが落ち着いて食事・おやつを楽しめるように、雰囲気づくりなど工夫していますか 2. 偏食や残さず食べることを直そうと、過度に叱ることがないように配慮していますか 3. 子どもが栽培・収穫したもの、調理したものを食べるなどの機会をつくるよう心がけていますか (他9項目) 	91.1%	8.9%
第6章 保護者に対する支 1. 保育所に入所している子どもの保護者に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> 1. 一人一人の子どもについて、家庭での養育方針などを知っていますか 2. 送迎の際に、保護者と必ず言葉を交わすようにしていますか 3. 一人一人の保護者と、必要に応じて個別に面談を行っていますか (他9項目) 	88.1%	11.9%
2. 地域における子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> 1. 地域の子どもについての保育ニーズを把握しようと努めていますか 2. 地域の家庭を対象とする相談など、子育て支援のための園の取り組みを理解していますか 3. 虐待を疑われる子どもの情報を得たとき、要保護児童対策地域協議会や児童相談所などの機関に照会、通告を行う園の体制を理解していますか (他1項目) 	87.7%	12.3%
3. 地域や関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> 1. 子どもの医療や保健に関する問題について、連絡・相談すべきところを知っていますか 2. 地域の住民から受けた子育て相談の内容について、連絡・相談すべきところを知っていますか 3. 園の周辺の住民と良好な関係を築けるよう、日常的なあいさつなどを心がけていますか (他3項目) 	90.8%	9.2%
第7章 職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> 1. 会議などでは、子どもの最善の利益を尊重して発言していますか 2. 園の内外における研修・研究活動に積極的に参加していますか 3. 同僚のそれぞれの役割と、あなたが果たすべき役割とを理解していますか (他11項目) 	82.4%	17.6%



3. 2020年度自己評価について

①2020年度省察

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大は、様々な工夫や配慮が求められたが、保育を見直す機会になり、また、動画配信やオンラインの導入など新しい様式の保育を始めることができたと思う。
- ・外国籍の子どもの宗教の違いについて配慮をおこなった。大学と連携を図り、英語でのおたよりや翻訳などを依頼する事ができ、保護者との意思の疎通をしっかりと行う事ができた。
- ・新型コロナウイルス感染症の流行で、行事が変更になったり、保護者の方に子どもたちの姿を見ていただく機会がなかなか持てなかった為、ホームページや連絡帳、送迎時などで、できるだけ詳しく伝えられるよう努めた。
- ・感染症対策のために中止や変更となる行事があったり生活の仕方が変わったりすることもあったが子どもたちとのかわり方は今までとかわらずに行えるように心がけた。
- ・キリスト教保育が始まり、私自身日ごろから祈る心を大切に、園内研修に参加したり入ったクラスでお祈りや讃美歌を歌ったりして子どもと共に学んでいった。

②2020年度自己評価

- ・保育者間の言葉遣いが丁寧になり、自然と子どもたちにも丁寧に接することが出来た。そうすることで子ども達の表情も優しく穏やかになった。
- ・新型コロナウイルス感染症への不安はあるが、やはり目の前の子どもの笑顔、保護者の方の笑顔が一番であった。マスク越しではあったが、目、声、話し方・内容、振る舞い…安心感を伝える努力を行った。
- ・コロナ禍での感染予防はその時々に合わせて徹底し対応できた。
- ・担任間で日々話し合い、子どもが主体性を持ち生活できるような関わりや環境を工夫した。
- ・キリスト教保育が始まり戸惑いもあったが、自分自身も研修を受けたり、他の先生方の保育をされている様子を見て学ぶことが出来た。
- ・子ども一人ひとり生活リズムや形態が様々であることは理解していたが、それを保育園での生活に取り入れることに難しさを感じた。より柔軟に捉えていければ良かったと思う。
- ・子ども達一人ひとりの発達に合わせた遊びを取り入れたり、離乳食を進めたり、寄り添った保育ができたように思う。

③2021年度自己課題

- ・保育理念も更に意識しながら努めていく。
- ・キリスト教保育を積極的に学び、理解を深め実践へと活かせるようにする。
- ・子どもの声に立ち止まり一人ひとりの話を聞いて会話し、子どもの思い、伝えたいことを知り、子どもの内面的な事を理解しながら保育を行う。
- ・一人一人の気持ちが満たされる環境を考える。
- ・子どもたちが自分でしようとする姿を認め、見守りながらかわる。
- ・声掛けが多くなってしまわないように意識し、待つことを課題にして子どもたちとかわっていく。
- ・保護者とコミュニケーションを図り、それぞれに合わせた対応を心がけていく。
- ・キャリアアップ研修に積極的に参加し専門性を高めていく。
- ・大学との連携を踏まえて、大学生向けの授業などで保育実践や大切にしていることを発信していきながら、大学生からの質疑や不安に耳を傾け、安心して保育に携わる人材を育てていけるように尽力していく。

4. 総評

<評価内容及び結果について>

- ・質問内容に対して80%の回答に満たなかった項目は、「第1章 総則」、「第3章-1-(2)-3 環境」「第3章-5 障がいのある子どもの保育」、「第4章-2 小学校との連携」の4分野であった。

「第1章 総則」についての課題

- ・新保育指針については日常的に学んでいるが、その他の児童福祉法についての知識が低い結果となった。総則について学ぶ時間を確保し専門職としての意識を高めることが求められる。

「第3章-1-(2)-3 環境」についての課題

- ・2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地域交流の活動が中止となり、子どもたちの健康を第一に優先したその結果が影響していると考えられる。しかし、この結果を基に次年度には新しい手段を探りながら地域との交流を継続することが必要となる。

「第3章-5 障がいのある子どもの保育」についての課題

- ・障がいのある子どもに対しては全職員が同じ意識を持ち細やかな対応が求められているが、担当の保育士やクラス担任が日常における支援を実施していくことがほとんどである。今後はコーディネータを中心に障がいを持つ子どもたちの対応を全職員で共有する意識が必要である。また、専門機関との連携もより一層強め、保護者支援にもつなげていきたい。今年度はコロナ禍において支援の機会が絶たれてしまうことも多かったため、保育園での支援は大きいといえる。

「第4章-2 小学校との連携」についての課題

- ・小学校との連携については、3歳児までの子どもを預かる本園にとっては小学校との連携についての達成が困難な項目となる。小中高連携会議には主に園長及び主任保育士が出席するため、他の保育士は直接に小学校との接点がないのが現状である。またコロナ禍であったため、会議等の中止が相次ぎ、連携の機会は皆無であった。しかし、卒園児が小学校に入学する年度に達している為、小学校への授業参観が可能になってきている。今後は意識して小学校との連携を強めていきたい。

<2020年度 園長総評>

コロナ禍において日常の保育を維持することは不安と緊張の連続であった一年となった。しかし、職員一人一人の努力により保健衛生面への十分な配慮や園児及び保護者への丁寧に関わりがなされていたと考える。研修については対面からオンライン研修へと変換した一年であり、積極的に取り組むことが出来ていた。今後も感染の収束は定かではないが、保育士として新しい情報をキャッチし正しい情報であるか見極め、積極的に専門性を高めていく資質が求められている。また、キリスト教保育の取組は初年度であったが、「祈り」を大切に「神とともに幼子と生きる」思いを繋げていきたい。この自己評価によって一人一人が自らの保育実践と子どもの育ちをふりかえり、組織的・継続的に保育の質の向上に取り組んでいく事が大切である。

「保育士の自己点検・自己評価のためのチェックリスト」300項目

第1章 総則

001	改定された保育所保育指針は告示となりましたが、どのような 法的拘束があるか説明できますか
002	児童福祉法第 18 条の 4 において示された保育士の業務について説明できますか
003	「保育の目標」（保育指針第 1 章 3・(1))に基づいて、保育を行っていますか
004	「保育の方法」（保育指針第 1 章 3・(2))について、知っていますか
005	「保育所の社会的責任」（保育指針第 1 章 4)の内容について説明できますか
006	子どもの最善の利益を考慮し、人権に配慮した保育ができています
007	保育の「ねらい」や「内容」を保護者にわかるように説明できますか
008	「養護及び教育を一体的に行う」という保育所保育の特性(保育指針第1章2・(2))を、地域社会の人にわかるように説明する努力をしていますか
009	保育所は、子どもがその生活時間の大半を過ごす場であることの意味を理解していますか
010	入所・利用している子どもの個人情報の（あなた自身の）管理は、適切だと思いますか
011	職務上知り得た子どもに関する情報について、正当な理由なく家族や友人にも、話さないようにしていますか
012	あなたの園の苦情解決システムについて説明できますか

第2章 子どもの発達

013	乳幼児期は、生涯にわたる「生きる力」の基礎が培われる時期であることを理解して、保育を実践していますか
014	子どもの発達は、豊かな心情、意欲、態度を身につけ新たな能力を獲得していく過程であることを理解していますか
015	子どもの発達の特性や発達過程を理解し、「発達の連続性」に配慮して保育をしていますか
016	子どもと生活や遊びを共にするなかで、一人一人の子どもの心身の 状態を把握していますか
017	子どもの情緒を安定させ、人への信頼感を育てるために、一人一人 の子どもを愛し、信頼していますか
018	子どもは様々な環境との相互作用により発達していくことを理解 していますか
019	子どもが興味や関心を示し、自発的に働きかけることができるように、身近な環境を整えていますか
020	子どもが主体的に関わる環境を用意していますか
021	子ども同士の関係の基盤となるように、あなたは一人一人の子とも信頼関係を構築していますか
022	心身の発達の個人差を理解するために、一人一人の生理的、身体的な諸条件や生育環境の違いを把握していますか
023	仲間との関係の中で「個」の成長も促すことを意識して、遊びを展 開させていますか
024	豊かな感性とともに好奇心、探究心や思考力が養われるよう保育を工夫していますか
025	発達過程区分は、同年齢の均一的な発達の基準ではなく、一人一人の子どもの発達過程としてとらえていますか
026	発達上課題のある子どもに対しても、子ども自身の力を十分に認め、適切な援助及び環境構成を行っていますか
027	保育所の生活になじみにくい子どもに対しても、一人一人に応じた適切な援助及び環境構成を行っていますか

第3章 保育の内容

1. ねらい・内容

028	保育の内容は、目標を具体化した「ねらい」とさらに具体化した「内容」とから構成されることを理解していますか
029	保育所保育は、「養護と教育」が一体となって展開されることに留意していますか
030	「養護」とは、子どもの生命の保持と情緒の安定を図るための援助であることを理解していますか
031	「教育」とは、子どもが健やかに成長し、活動がより豊かに展開されるための援助であることを理解していますか
032	「教育」とは、心情、意欲、態度など子どもが身につけるための援助であることを把握していますか
033	「養護」が基礎となって 5 領域における活動や体験が展開していくことを理解していますか

(1) 養護（生命の保持・情緒の安定）

034	指導計画や記録には、いつも養護面の配慮が記載されていますか
035	一人一人の子どもの生理的欲求が十分に満たされるよう配慮していますか
036	登園時の子どもの健康観察を行っていますか
037	子どもが触れたりする物や場所など、衛生的な環境を保てるように常に気をつけていますか
038	子どもが自分の場を確保できるような配慮をしていますか
039	いつでも安心して休息できる雰囲気やスペースを確保していますか

040	子どもが何を求めているか、いつも思いをめぐらせていますか
041	子どもとの温かなやり取りやスキンシップを常に心がけていますか
042	子ども一人一人にわかりやすい温かな言葉で、おだやかに話しかけていますか
043	子どもが不安になったときにいつでも支えられるよう、一人一人を視野に入れてしていますか
044	「早くしましょう」など、せかす言葉を不必要に使わないで、状況や一人一人に合わせた対応を心がけていますか
045	「だめ」、「いけません」など制止する言葉を不必要に用いないようにしていますか
046	「待ってて」、「あとで」などと言わずに、なるべくその場で対応するようにしていますか
047	「できない」、「やって」などと言ってくるとき、その都度気持ちを受け止めて対応していますか
048	「いや」などと、駄々をこねる子どもの気持ちをくみとろうとしていますか
049	登園時、泣く子どもに対して、放っておいたり、叱ってしまうことがないようにしていますか
050	登園時、子どもの状況に応じて、抱いたり、やさしく声をかけたりしていますか

(2) 教育

1) 健康

051	0十分に身体を動かせるよう、時間と場所を確保するなどの配慮をしていますか
052	戸外で遊ぶ機会を多く取り入れていますか
053	友だちと一緒に身体を動かすことを楽しめるように働きかけていますか
054	保育士が率先して身体を動かすなど、子どもがその楽しさを体験できるよう配慮していますか
055	健康な生活のリズムを身につけるよう、子どもの1日の生活の流れを考えながら保育していますか
056	戸外の活動のあと、子どもがていねいに手を洗っているか、そのつど確認していますか
057	自分の身体を大切にすることが育つよう、視聴覚教材などを用いて話をする機会をもっていますか
058	食事の前や排泄の後の手洗いを励行するなど、清潔の習慣が身につくよう援助していますか
059	食事、排泄など、生活に必要な活動の仕方を身につけるよう、働きかけていますか
060	食事・おやつ準備や片づけに参加したり、自分たちでできるよう配慮していますか
061	衣類の着脱を自分でやろうとしている子どもの気持ちを大切にしていますか
062	危険に気づいて行動できるよう、安全についての心構えを日頃から話していますか
063	歯磨き指導など、病気の予防に必要な活動を適宜取り入れていますか

2) 人間関係

064	子どもが、保育士や友だちと共に過ごすことの喜びを感じることができるような配慮をしていますか
065	園生活の中で、自分でできたという充実感を味わえるような体験を取り入れていますか
066	友だちと一緒に喜んだり悲しんだりすることができる機会をつくっていますか
067	つまづきや葛藤、けんかなどを、子どもの育ち（発達）に欠かせないものとしてとらえ、対処していますか
068	子ども同士が思ったことを相手に伝え、相手の思っていることにも気づけるように援助していますか
069	友だちと積極的に関わることで、友だちのよさに気づくよう援助していますか
070	友だちと一緒に一つのことをやり遂げることにより、達成感が味わえるような機会をつくっていますか
071	良いことや悪いことに気づき、考えて行動することができるように配慮していますか
072	困っている友だちのことを心配するなど、思いやりを持てるよう援助していますか
073	園生活のなかで、順番を守るなどきまりの大切さを理解できるように、ていねいに説明していますか
074	あそびのルール（きまり）を子どもたちが自らつくっていく過程を大切にしていますか
075	共同の遊具や用具を大切に使うことを、活動を通して体験できるよう配慮していますか
076	当番活動や保育士の手伝いをするなど、人の役に立つ喜びを味わえるようにしていますか
077	当番活動などでは、「やってみたい」という気持ちを大切にしていますか
078	高齢者や地域の人と関わり、親しみや感謝の気持ちを味わうことができる機会をつくっていますか
079	家族などから、自分がたくさんの愛情を受けて育ってきたことを知る機会をつくっていますか
080	外国人など、自分とは異なる文化を持った人に親しみを持つ機会をつくっていますか

3) 環境

081	身近な自然を通して、その美しさ、不思議さなどに気づくことができるようにしていますか
082	心の安らぎや、豊かな感情を体験できるように、子どもと自然との触れあいを大切にしていますか
083	水や砂や土などを使って、その性質や仕組みにあった遊びを展開できるように工夫していますか
084	その日の天候・気象に合わせた保育をしていますか

085	身近な動植物を飼育・栽培するなど、それらに興味や関心を持つことのできるよう配慮していますか
086	身近な自然事象に触れ「どうして」や「なぜ」といった疑問に対して、一緒に調べたり考えたりしていますか
087	子どもが身近な動植物に自分からさわろうとするとときに、何に一番気をつけなければいけないか、いつも考えていますか
088	子どもが身近な動植物の世話をするなかで、生命の尊さに気づくよう話しかけていますか
089	園庭や散歩で集めてきた葉や木の実など、季節感のある素材を保育のなかで活用していますか
090	自分のもの、他人のもの、共同のものに区別に気づけるような機会を提供していますか
091	集めてきた木の実を数えたり、数量や図形などに関心を持つよう工夫していますか
092	身の回りにある簡単な標識や文字に関心を持ち、その意味や役割がわかるよう配慮していますか
093	地域の公共機関を利用するなど、近隣の生活に興味を持てるように配慮していますか
094	園外保育などで地域で働いている人たちに会う機会をつくっていますか
095	あなたは、社会の出来事について、子どもにわかりやすく説明できますか
096	さまざまな国の旗をつくって飾ることによって、いろいろな国に興味や関心を持てるようにしていますか

4) 言葉

097	子どもの言葉の発達の過程について、保育士としての専門的な目で詳細に観察していますか
098	あなたは、子どもの発達や理解力や生活経験に合わせた言葉を使って保育していますか
099	あなたは、日々心のこもったあいさつを子どもと交わしていますか
100	子どもの表情や姿をよく観察し、その場に適した言葉がけを心がけていますか
101	あなたは、正しく、美しい言葉で子どもに話しかけていますか
102	子どもがしたいこと、してほしいことを話しているとき、最後までゆったりと聞くよう努めていますか
103	あなたは子どもが、わからないことを尋ねることができるなど、安心して話せる雰囲気をつくっていますか
104	子どもが見たこと、聞いたこと、感じたことなどを、その子なりの言葉で表現する機会を大切にしていますか
105	話し合いのときには、どの子どもも自分の意見を言うことのできる機会を提供していますか
106	人の話をじっくりと聞き、その内容を理解することの大切さに子どもが気づくように働きかけていますか
107	人の話を聞くことの楽しさを体験するよう心がけていますか
108	子どもが人前で話すときは、相手にわかりやすく話せるように援助していますか
109	絵本や紙芝居の読み聞かせをするとき、言葉の楽しさや美しさに子どもが気づけるよう心がけていますか
110	子どもが絵本や物語の内容と自分の経験とを結びつけたり、想像をめぐらせるよう、読み方を工夫をしていますか
111	子どもの興味や関心に合わせた絵本や物語の選定をしていますか
112	紙芝居や絵本の読み聞かせのときには、あなた自身もその内容を楽しんでいますか
113	簡単な文字や記号を使って遊ぶ楽しさを伝えていきますか
114	人と気持ちが通じ合う喜びを味わえるよう配慮していますか
115	「ごめんなさい」、「ありがとう」など、生活に必要な言葉をいつも使えるように保育していますか

5) 表現

116	歌ったり、踊ったりして、音や動きの楽しさに気づき、楽しめるよう援助していますか
117	様々な音、色、形、手触り、動き、味、香りに気づき、心地よさを感じる機会をつくっていますか
118	美しいものや心を動かす出来事に触れ、イメージを豊かにできるような機会をつくっていますか
119	子どもが様々な楽器を使う機会を提供し、音楽に親しみをもち楽しめるように工夫していますか
120	ハサミや大工道具など、道具の正しい使い方を、一人一人に丁寧に教えたり、見守ったりしていますか
121	子どもがつくったり表現したものを、お互いに見せ合ったりするような機会をつくっていますか
122	生活のなかで、感動したことを伝え合う楽しさを味わえるような機会をつくっていますか
123	感じたことや考えたことを、自由に描いたり、つくったりできる機会をもうけていますか
124	自由に描いたりつくったりできるように、材料や用具を子どもが自由に取り出せる場所に置くなど工夫していますか
125	自分のイメージを言葉などで表現したり演じたりして、遊ぶ楽しさを味わえるようにしていますか
126	みんなで一緒に表現することのよこびを、味わえるような機会をつくっていますか
127	人前で表現する機会や場面を、保育のなかでできるだけ多く用意していますか
128	子どもがいろいろな素材に触れ、親しみ、イメージを豊かに持てるよう配慮していますか

2. 保育の環境

129	季節に合わせて、保育室のインテリアなど環境に工夫をしていますか
-----	---------------------------------

130	保育中に音楽を流すときには、選曲や音の大きさに配慮していますか
131	保育中のあなた自身の声の大きさは、子どもにとっていつも適切な大きさですか
132	子どもの発達に即した玩具・遊具・用具を用意していますか
133	子どもの戸外での活動に合わせて、遊具の配置や飼育・栽培など自然環境の整備に心がけていますか
134	クレヨン・粘土・紙や用具などを、子どもの動線に沿って配置するなど、工夫していますか
135	子どもの興味に合わせて、好きな遊びができるコーナーを設けるよう工夫していますか
136	日々の保育のなかに、子どもが自由に遊べる時間帯を設けていますか
137	子どもの作品を工夫して飾ったり、ていねいに保存したりするなど、大切に扱っていますか

3. 乳児保育

乳児保育を担当していますか、または過去に担当していましたか。

「担当している（過去に担当した）」方のみお答えください。

138	室内の温度や湿度、換気をチェックしていますか
139	授乳は、子どものほしがるときを尊重して行っていますか
140	抱いて目を合わせたり、微笑みかけたりしながら、ゆったりと授乳していますか
141	離乳食については、家庭と連携をとりながら、すすめていますか
142	一人一人の育ちやその日の体調に合うよう離乳食を工夫していますか
143	初めての食品を食べさせたときには、皮膚や便性などに異常がないか、観察していますか
144	おむつ交換は、やさしく声をかけながら行っていますか
145	一人一人のおむつを交換する度に、手洗いを徹底していますか
146	一人一人の生活リズムに合わせて睡眠がとれるように、静かな空間を確保していますか
147	寝返りのできない乳児を寝かせる場合には仰向けに寝かせていますか
148	睡眠時に乳児の様子を把握する方法は、どの職員もすぐに理解できる適切な方法で行っていますか
149	喃語には、ゆったりとやさしく応えていますか
150	しぐさや声や動きを介して発する欲求を察知し、タイミングよく応答していますか
151	たて抱き、腹這いなど、子どもが様々な姿勢をとれるよう努めていますか
152	身体を適度に動かす遊びや、リズムを伴った触れ合い遊びを十分にしていますか
153	季節や天候に応じて戸外遊びを行うなどの機会を設けていますか
154	特定の保育者との継続的な関わりが保てるよう配慮していますか
155	子ども一人一人の育ちについて、職員間で連携を取り職員全体で見守る体制ができていますか
156	一人一人の子どもにいつでもやさしく対応するように努めていますか
157	一人一人の子どもの服装、頭髪、爪などの清潔に心がけていますか
158	眠いときに眠ることができる場所を用意していますか
159	温や天候、乳児の体調に配慮しながら外気浴を心がけていますか

4. 長時間保育

長時間にわたる保育（長時間保育）を担当していますか、または過去に担当していましたか。

「担当している（過去に担当した）」方のみお答えください。

160	時間保育のために、家庭的な雰囲気をつくることに配慮していますか
161	長時間保育のために、好きなことをしてくつろげる空間や玩具などを整備していますか
162	長時間保育では、一人一人の子どもの要求に応じて、ゆったりと接していますか
163	長時間保育では、クラスや年齢の違う子どもとも楽しく遊べるように配慮していますか
164	子どものその日の様子を、確実な方法により職員間で伝達していますか
165	次々にお迎えが来るなかで、「ママ（パパ）来ないね」など子どものつぶやきなどを受け止め、気持ちをくんで対応していますか
166	その日の子どもの様子が保護者に確実に伝わるように、連絡帳などの内容や書き方をいつも検討していますか

5. 障害のある子どもの保育

障害児保育を担当していますか、または過去に担当していましたか。

「担当している（過去に担当した）」方のみお答えください。

167	園での生活の仕方について、障害のある子どもの特性に合わせた個別支援計画を立てて保育を行っていますか
168	障害のない子どもの、障害のある子どもへの関わりに対して、あなたは配慮していますか
169	障害のない子どもも障害のある子どもも、互いの良さを感じ取るように配慮していますか

170	障害のある子どもの保育について、園全体で定期的に話し合う機会を持つよう配慮していますか
171	障害児保育、特別支援教育などに関する研修に自ら進んで参加していますか
172	あなたは、担当しているクラスの障害のある子どもが持つ障害について、保育士としての十分な知識を持っていますか
173	療育・医療機関などの専門機関から、必要に応じて助言を受けていますか
174	障害のある子どもの保護者の気持ちを受け止め、信頼されるよう努めていますか
175	園の保護者に、障害のある子どもに関する適切な情報を伝えるための取り組みを行っていますか
176	障害のある子どもの保護者と話し合う場を日常的に設け、保護者への支援を心がけていますか
177	障害のある子どもの保護者が就学など将来の方向を決めやすいように、相談に応じたり情報を提供したりしていますか

6. 子どもの人権

178	「男（女）の子だから〇〇〇しない」などと、行動（態度）について、性差への先入観による固定的な対応をしないよう配慮していますか
179	「それは女（男）の子の色」などと、服装や持ち物について、性差への先入観による固定的な対応をしないように配慮していますか
180	「それは男（女）の子の遊び」などと、遊び方について、性差への先入観による固定的な対応をしないように配慮していますか
181	「それは女（男）の子の仕事」などと、職業について、性差への先入観による固定的な対応をしないように配慮していますか
182	子どもの国籍や文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮していますか
183	子どもの人権への配慮や、互いを尊重する心を育てるために、具体的な取り組みを行っていますか
184	あなたは、子どもの権利養護に関する研修に参加したことがありますか

第4章 保育の計画及び評価

1. 保育の計画

(1) 保育課程

185	園の保育理念、基本方針、保育課程などを正しく説明することができますか
186	指導計画のねらいや内容を保護者にわかるように説明できますか
187	保育課程の編成にあたっては、その中にどのような事項を入れなければならないかを知っていますか
188	保育課程は、保育所保育指針に示された子どもの発達過程や保育の内容に沿ったものとなっていますか
189	保育課程は、子どもの育ちに関する長期的な見通しをもって編成されていますか

(2) 指導計画の作成

あなたは、園の指導計画作成に関わっていますか、または過去に担当していましたか。

「作成に関わった（過去に関わった）」方のみお答えください

190	指導計画作成は、必ず保育課程に基づいて作成していますか
191	指導計画を養護的側面（基礎的事項）と教育的側面（5領域）の両面を考慮して作成していますか
192	年・月案などの長期的な指導計画と関連させ、子どもの生活に即した週・日案などの指導計画を作成していますか
193	指導計画を作成する際は、一人一人の子どもの発達課程や子どもの状況に配慮していますか
194	週・日案などの指導計画は、子どもの興味や関心、意欲に合わせて活動が展開できるように作成していますか
195	指導計画は、日々の保育の連続性や季節の変化を考慮して作成していますか
196	指導計画は、園の生活が家庭や地域社会と連続性を持てるように配慮し作成していますか
197	子どもの活動の展開に合わせて、援助の仕方が具体的に指導計画に書き込まれていますか
198	入園時期には、生活のリズムや安全面に十分配慮して、指導計画を作成していますか
199	地域の自然、人材、行事や公共施設などを積極的に活用するよう指導計画を作成していますか
200	行事は、その保育上の意義を十分検討したうえで、指導計画に組み入れていますか
201	あなたの指導計画の反省・評価は、次の指導計画作成に反映できるものとなっていますか
202	日々の保育記録が、子どもの発達援助に必要なことを知っていますか
203	日々の保育記録の記入項目を、他のクラスの担任などを含めて園全体で話し合って決めていますか
204	現在、担当している子どもの個人記録を、毎日作成していますか
205	日々の個人記録を、子ども一人一人の発達過程の把握に生かしていますか
206	その日にあった出来事や気になる子どもの様子などを、その子どもに関わる他の職員と共有していますか
207	子どもの個人記録などは、個人情報保護法や守秘義務に基づいて管理していますか

2. 小学校との連携

208	保育所保育が小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることを理解していますか
209	日頃から、小学校の先生と、子どもの発達について話し合う機会を持っていますか
210	あなたは、小学校の授業を見学し、小学校の教師と教育のあり方について意見交換していますか
211	運動会など小学校の行事の際には、子どもが活動している姿を見に行きますか
212	担当した子どもが小学校に入学してからも、保護者と意見交換する機会がありますか
213	小学生が遊びに来ることのできる場（行事などを含む）を、積極的に提供していますか
214	「保育所児童保育要録」に記載すべき内容について知っていますか
215	普段の保育記録が、「保育所児童保育要録」の記入に役立つように整理されていますか
216	小学校の先生が、保育所での子どもの育ちについて何を知りたいのか知っていますか
217	小学校の先生が、「保育所児童保育要録」に何を記載してほしいか知っていますか
218	子どもの育ち（発達）の連続性の観点から、小学校の「学習指導要領」を読んだことがありますか

3. 保育の内容の自己評価

219	保育所保育指針に、あなたの園の保育を自己評価することが努力義務として位置づけられているのを知っていますか
220	あなたは園の保育理念や基本方針を正しく述べることができますか
221	自己評価など、自分の保育を振り返る機会を定期的に持っていますか
222	自分の保育の課題を、客観的に見つける手段を持っていますか
223	あなたの保育を同僚などに積極的に公開し、意見を聞くなど自分の保育の自己評価につなげていますか
224	あなたは園長や主任との間で、質問をしたり意見を交わしたりできるような、良好な関係を築いていますか
225	園長・主任からの指示や会議などでの結論が自分の意見と違うときも、それに従って気持ちよく協力していますか
226	自分の保育実践について、園長や主任からの意見を、感情的にならずに謙虚に受け止めることができますか
227	園の保育内容などについての自己評価の結果を、公表するように務めなければならないことを知っていますか

第5章 健康及び安全

1. 子どもの健康支援

228	子どもの日々の健康状態を把握し、それを一人一人の保育に生かしていますか
229	身長・体重などの定期的な計測から子どもの発育状況を把握して、日常の保育に生かしていますか
230	身長・体重などの定期的な計測の結果を、保護者に文書で伝えて日常の保育に生かしていますか
231	健康診断の結果を、文書で保護者に伝えていますか
232	健康診断の結果を、子どもに関係する他の職員と共有していますか
233	感染症が発生したとき、発生の状況や予防対策などをすぐに保護者に連絡していますか
234	疾患を持つ子どもに対して、医師からの指示に基づいて対応していますか
235	家庭では、子どもが十分に睡眠をとるなどして健康な生活リズムを身につけるよう保護者への啓発に努めていますか
236	一人一人の子どもの出生時の状況、その後の発育・発達などを細かに把握していますか
237	子ども一人一人の健康状態などを、職員相互で確認していますか
238	子どもが体調が悪くなったときに、医師と連絡をとるように心がけていますか
239	子どもの与薬を要請された場合、医師の指示など留意事項の確認をしていますか

2. 環境及び衛生管理

240	子どもが活動しやすいように、その都度、保育室の換気や温度・湿度に配慮していますか
241	その日の温度・湿度を点検し、記録にとっていますか
242	適宜、手洗い場やトイレを清掃し、清潔を保つようにしていますか
243	砂場は、動物の侵入を防いだりするなど、衛生面に配慮していますか
244	玩具・遊具については、適宜、衛生面に配慮していますか

3. 安全管理

245	子どもが危険な場所、危険な遊びがわかり、安全に気をつけて行動するよう指導していますか
246	手洗い場の滑り止めをはじめ、必要な箇所の転倒防止の対策をしていますか
247	施設・設備の安全に関する点検をマニュアルに沿って確実に実行していますか
248	園の備品を、責任を持って管理していますか

249	交通安全の習慣が子どもの身につくように指導していますか
250	災害時に安全に避難できるようにするための訓練を行っていますか
251	不審者が園内に侵入した際、あなたがどのように対応するのかを理解していますか

4. 食育の推進

252	子どもが落ち着いて食事・おやつを楽しめるように、雰囲気づくりなど工夫していますか
253	偏食や残さず食べることを直そうと、過度に叱ることがないように配慮していますか
254	子どもが栽培・収穫したもの、調理したものを食べるなどの機会をつくるよう心がけていますか
255	自然の恵みとしての食材や調理する人への感謝の気持ちが育つよう心がけていますか
256	食事・おやつは「おいしく、楽しく」味わえるように、時には戸外で食べたりするなど工夫していますか
257	絵本など視聴覚教材を通して、食べ物に興味や関心を持つことができるように働きかけていますか
258	食べ物が、体のなかでどのような働きをするのかを、わかりやすく説明していますか
259	その日の昼食の食べ具合などを、必要に応じて保護者に知らせていますか
260	子どもが楽しく食べることでできるように、食育の計画を作成していますか
261	食物アレルギーの子どもに対して、医師と連絡して除去食などの配慮をしていますか
262	子どもの体調に応じた食事が提供できるように配慮していますか
263	あなた自身がおいしく、楽しく食事ができるよう努めていますか
264	あなた自身が「いただきます」「ごちそうさま」と感謝をもって食事ができるよう努めていますか

第6章 保護者に対する支援

1. 保育所に入所している子どもの保護者に対する支援

265	一人一人の子どもについて、家庭での養育方針などを知っていますか
266	送迎の際に、保護者と必ず言葉を交わすようにしていますか
267	一人一人の保護者と、必要に応じて個別に面談を行っていますか
268	子育てや就労を支えるために、保護者の気持ちに配慮しながら接していますか
269	あなたは、保護者が子育ての悩みや心配事を安心して話せる存在になるよう心がけていますか
270	あなたの保育に批判的な保護者に対しても、ていねいに意見や要求を受け止めようとしていますか
271	保護者との情報交換の内容を、必要に応じて記録していますか
272	保護者の考えや提案を積極的に聞き、適切と思うものについては保育に取り込むように努めていますか
273	保護者からの相談内容などを、担任一人の問題にしないで、園全体で受け止めようとしていますか
274	子育てについて、保護者と共通理解を得るために、懇談会などの機会を設けていますか
275	自分の保育実践の内容や意図を、わかりやすく保護者に説明することができますか
276	子どもの体調がよくないときなどに保護者に電話をする際、その内容がどのように伝わるかを考えていますか

2. 地域における子育て支援

277	地域の子どもについての保育ニーズを把握しようと努めていますか
278	地域の家庭を対象とする相談など、子育て支援のための園の取り組みを理解していますか
279	虐待を疑われる子どもの情報を得たとき、要保護児童対策地域協議会や児童相談所などの機関に照会、通告を行う園の体制を理解していますか
280	一時保育のときにも、子どもの発熱やケガの際に、保護者に連絡をとる方法を知っていますか

3. 地域や関係機関との連携

281	子どもの医療や保健に関する問題について、連絡・相談すべきところを知っていますか
282	地域の住民から受けた子育て相談の内容について、連絡・相談すべきところを知っていますか
283	園の周辺の住民と良好な関係を築けるよう、日常的なあいさつなどを心がけていますか
284	中高生や大学生などの保育体験を受け入れるときには、その目的や意義を理解・確認していますか
285	実習生を受け入れるときには、意義や方針を理解し、あなたが指導的立場にあることを意識していますか
286	ボランティアを受け入れるときには、その目的や意義を理解・確認していますか

第7章 職員の資質向上

287	会議などでは、子どもの最善の利益を尊重して発言していますか
288	園の内外における研修・研究活動に積極的に参加していますか
289	同僚のそれぞれの役割と、あなたが果たすべき役割とを理解していますか

290	自分の保育実践の内容や意図を、同僚にわかりやすく説明することができますか
291	自分の保育実践について、同僚から意見を聞くように努めていますか
292	あなたは特定の分野に偏ることなく、自己評価などに基づいた研修・研究活動を行っていますか
293	自己評価等で課題を見つけ、その課題の解決のために計画的に自己研鑽していますか
294	研修に参加したり専門書を読むなどして、保育に関わる様々な知識や技能の向上に努めていますか
295	保育士の人間性が子どもに影響を与えることを自覚して、研修に励んでいますか
296	国や自治体の公刊物、インターネットなどで、保育関係の情報を日頃から収集するように心がけていますか
297	あなたは保護者への「保育に関する指導」（子育て支援）のために特別な努力をしていますか
298	あなたは地域の児童委員との情報交換、専門機関との事例検討、学校との連携などの活動に積極的に参加していますか
299	子どもの発達保障や子どもの最善の利益を考慮した保育をすすめるために園内外の研修に参加していますか
300	あなたは保育士としての人間性や倫理観を高めるために自己研鑽していますか